

必修・選択	授 業 科 目	単 位 数		担 当 者	備 考
		1年次	2年次		
選 択 科 目	機械工学特別講義A※	2		清水 透	
	機械工学特別講義B※(令和7年度休講)	2		清水 透	
	機械工学特別講義C	2		大石 久己	
	機械工学特別講義D※	2		一色 正男	
	機械工学特別講義E※(令和7年度休講)	2		一色 正男	
	機械工学特別講義F※	2		真志取秀人	
	機械工学特別講義G※(令和7年度休講)	2		真志取秀人	
	機械工学特別講義H※(令和7年度休講)	2		長澤 敦氏	
	機械工学特別講義I※	2		長澤 敦氏	

※ 隔年開講科目です。履修の際は、履修年度の時間割を参照してください。

1. 2 電気工学専攻

(1) 電気工学専攻の目的

電気工学専攻修士課程は、高度化が進んだ各分野の研究および応用開発に必要な深い学識と高度な専門技術・能力を有し、研究力と独創性のある優れた技術者の養成を目的としています。

(2) 電気工学専攻のコース内容と特色

電気工学は電気電子技術の基礎から応用まで、幅広い技術分野に広がっている。本専攻は、基礎学力を修得し、さらに専門的な知識を身に付けることができるよう、次の2コースを設ける。

ア. 電子電気システム

電子電気システムの基礎と理論の研究を行なう分野である。電気・電子・通信から環境エネルギー技術の基礎学力と応用開発力を身につける教育・研究を行なう。電気、電子回路のシミュレーション技術、非線型電子回路、非線型現象の解析、半導体材料からレーザー材料、超伝導材料等の先端材料の基礎技術と応用技術について、教育・研究を行う。新材料・新エネルギー技術、自然エネルギー技術の基礎から応用技術、開発技術について教育・研究を行う。

イ. 応用情報学

情報工学、人間情報学の基礎と理論の研究を行う分野である。情報技術を学び、画像、音声メディアの最新技術、人間情報学を身につける教育・研究を行う。情報処理分野とメディア諸分野の基礎技術、情報工学、ソフトウェア工学、画像音声工学、メディア情報処理学、映像制作の基礎技術と理論、人工知能論、生体情報・身体運動情報・スポーツ情報工学・健康医療情報制御技術を学び、情報処理基礎の数理サイエンス分野の基礎から応用技術、開発技術について教育・研究を行う。

(3) 電気工学専攻授業科目

2年以上在学し、電気工学特別演習（Ⅰ～Ⅳ）（4単位）、電気工学特別研究（Ⅰ～Ⅳ）（8単位）に加えて講義科目から18単位以上（計30単位以上）の単位を修得し、且つ履修科目の成績並びに修士論文及び最終試験（公聴会）の成績の総合判定に合格することが修了の要件である。